

保護者アンケート質問事項	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	0	0	0		
職員の配置数は適切であると思いますか。	12	3	0	1		
生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	0	0	1		
生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	16	0	0	0		
こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1	0	0		
事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	1	0	1		
こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	1	0	0		
放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	0	0	0		
放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	0	0	0		
事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	1	0	2		
放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	6	3	4		
事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	0	0	0		
「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	0	0	1		
事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	2	0	3		
日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	14	1	0	1		
定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	1	0	0		
事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	0	0	0		
父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	4	2	3		
こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	1	0	3		
こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	0	0	0		
定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15	1	0	0		
個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	0	0	0		
事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	1	0	1		
事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	0	0	3		
事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	1	0	1		
事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	0	0	1		
こどもは安心感をもって通所していますか。	15	1	0	0		
こどもは通所を楽しみにしていますか。	13	3	0	0		
事業所の支援に満足していますか。	16	0	0	0	事業所(就労・グループホーム等)の見学・体験の機会を設けてほしい。 商品の梱包や包装・シール貼りの機会を設けてほしい。	ご意見ありがとうございます。今後の支援・企画の参考にさせていただきます。

実施期間 2025/3/24-3/27

施設 GroupUp岡崎羽根

従業員アンケート設問	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善が必要な点
利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	職員同士休みが重ならないようにしている 重なったときには、動かせる体みであれば別日してもらっている 活動によりレイアウト変更	身体を動かす活動を行う時、十分なスペースがない。 目が届く場所のクールダウンスペースがあることよい。
利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	情報共有による迅速なサポート体制	状況にもよるが児童がいる間は子供の見守りに専念していくべきだと思う。 また外出支援の際十分な職員の確保がいまま外出に行った事もあったので危険を感じた。 十分な職員の確保ができない時は活動の変更も視野に入れて利用者の安全を優先するべきだと思う。
生活空間は、こどもにわかりやすく構成化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	段差の解消	
必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	クールダウンが必要な場合は支援室とは別に部屋を使用することもある 個室利用やバーテュンションの活用 気持ちが落ちつかない時に、クールダウン可能な部屋や場所がいくつかある点	相談室の小窓からの日差しが夏は暑い サイズの合ったり紙等で夏の日差し対策が出来ると良い
業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	3	3	支援内容の振り返りや利用者モニタリング	業務に関する情報共有が必要に感じる
保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	LINEの活用	できているのかわからない
職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	年度初・年度末などにおける職員面談の実施 気がついたこと、すぐに改善した方が良いことは、その日の内に相談や報告をするよう心がけている(当日〜日以内に対応・回答をいただけることが多い)	情報共有ができていないと感じる
第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		できているのかわからない 内容や方法を把握できていません
職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	積極的な研修機会の提供	外部講師等の研修もあると良い
適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	5領域の意識」「利用者やスタッフのバランス」「的確な振り返りの実施」など	
個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	的確なアセス、モニタリング、PDCAの実施と情報共有	
放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	適切・迅速な情報共有	
放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	2	適切・迅速な情報共有	改善されていると思うが、どこまで共有されているか、情報が少ない。 メモなどで職員に周知するようにしているが、意図が伝わらない場面が多い
こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」、「地域支援、地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		それぞれの職員が見た事などがどこまで共有され個別支援に反映されているか、不明
活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	月例ミーティング等で協議	月
活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	5領域に即して、活動予定を話し合い決めている 月例ミーティングでの「活動予定表」の協議	
こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	月例ミーティング等で協議	
支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	朝礼、終礼等での確認・振り返り・共有	
支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	3	3	朝礼・終礼等での確認・振り返り・共有 忙しい日は、振り返りの時間を取ることが難しいことがあるため、個別に声をかけたり連絡を取り、情報共有や伝達を心がけている	やれない事が多い 1つの活動をして終わりにするのではなく、その活動で見えてきた課題を次の活動で活かせる様、何が出来ていて何が出来ていなかったのかを箇条書きで良いので1つは挙げるように等してあげると良い
日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	支援プログラムの的確な作成とその振り返り	
定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	スタッフ全員によるモニタリング	
放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0		
こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	悩むときには選択肢を用意し、自分で考え選べるようにしている	
障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	6	0		
地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	6	0	毎週金曜日に予定をもらい確認をしている	
就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3		
学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2		
地域の児童発達支援センターとの連携を回り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受けられる機会を設けているか。	4	2		提供しているかわからない
放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	地域で活動する団体や他の放デイとのかわりかできている 他事業所の放デイとの交流会など	
(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4		
日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)等や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	事業所見学者や外部講師による講習会等を保護者向けに行っている	
運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1		しているのかわからない
放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえ、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3	「寺子屋」の定期開催	
こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
定期的に連絡等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	書類等はロッカーにしまい、利用者がいる時間には使用しないようにしている	
個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を行っているか。	4	2		
事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		
業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1		定期的に避難訓練を行ったほうがよい
事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3	医師の指示書が出ている利用者は現在利用がありません	卵アレルギーのある児童が昼食提供時に本人からの告知で知らされた事もあった。それまでは職員感での情報は一切なかった。 事前のアセスメントでアレルギー情報があるなら全体に周知を徹底してほしい。 特に食物アレルギーにかんしては命の危険につながるがけがないので、使う食材に細心の注意が必要だと思う
安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講ずる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	児童が施設を、利用している間は見守りあり、安全優先で支援にあたる様 にしている。	
こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		
ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1	的確な研修会の実施	
どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0		

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Growup岡崎羽根
○保護者評価実施期間	2025/3/24-2025/3/27
○保護者評価有効回答数	16
○従業員評価実施期間	2025/3/24-2025/3/27
○従業員評価有効回答数	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025/3/30

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが毎日「行きたい!」と思える安心感と楽しさを提供できている点。保護者の皆様からの高い評価は、私たちの大きな励みであり、事業所の基盤となる強みです。	一人ひとりの興味に応じた活動や自己選択の機会を設け、受容的な関わりを心がけています。	保護者様のご要望も踏まえ、活動の幅を広げ(就労体験等含む)、成功体験を増やし、個性を高めています。これにより、子どもの可能性を伸ばし、将来の自立と社会参加に繋がる支援を提供していきます。
2	アセスメントに基づき、保護者様の意向を反映した質の高い個別支援計画を作成できているプロセス。保護者様・従業員双方からの評価を自信に繋がっていきます。	多角的なアセスメント、保護者様との対話、チームでの定期的な見直し(PDCA)を重視して取り組んでいます。	日々の観察記録を計画へより具体的に反映させ、保護者様との意見交換を充実させていきます。将来的には、保護者様・関係機関と私たちが協働し、より実効性の高い計画を作成する体制へと深化させていきます。
3	視覚支援やバリアフリー化等、清潔で分かりやすい物理的環境。個々の状況に応じたクールダウン対応なども、私たちの取り組みが評価されている点です。	視覚支援、段差解消、レイアウト変更、個別スペース確保、清掃・整頓を徹底しています。	クールダウンスペースの常設、作品展示、安全点検等を進めます。安全・快適だけでなく、子どもの主体的な活動や多様なニーズに応える環境づくりに、私たち自身で取り組んでいきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員間の情報共有不足と連携の課題。特にアレルギー情報の共有漏れという重大な事態を重く受け止め、最優先で改善が必要です。	多忙さや共有ルールの曖昧さ、認識齟齬などが要因となり、連携不足が生じていると認識しています。	朝礼・終礼、情報共有ルール見直しと報連相の再徹底を図ります。これにより、安全で質の高いチーム支援を提供できるよう、私たち自身で確実な情報共有体制を構築・定着させていきます。
2	活動内容(特に外出時)による人員配置の手薄さと安全性への懸念。半数の職員が課題を感じている現状を改善しなければなりません。	活動内容や児童の状況変化、突発的な欠勤等への柔軟な対応が難しい状況にあります。	外出時のリスク評価・人員計画を進めます。先できる人員・リスク管理体制と、私たちが安心して働ける環境を両立させていきます。
3	活動プログラムのマンネリ化懸念と、一部外部機関との連携不足。保護者様の意見が分かれ、私たちの中からも連携への課題認識がある点は、積極的に改善していきます。	活動企画や外部連携に時間を割けない、連携担当が不明確、職員の経験に依存するなどの点が課題だと考えています。	ニーズ調査やアイデア会議の実施、連携担当明確化、外部参加促進を図ります。これにより、常に新鮮な活動を提供し、外部連携強化を通じて子どもの社会性を育み、私たちが地域に開かれた事業所となるよう努めます。

保護者アンケート質問事項	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。						
職員の配置数は適切であると思いますか。						
生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。						
生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか						
こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。						
事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。						
こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。						
放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。						
放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。						
事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。						
放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。						
事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。						
「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。						
事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)等や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。						
日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。						
定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。						
事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。						
父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。						
こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。						
こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。						
定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。						
個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。						
事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。						
事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。						
事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。						
事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。						
こどもは安心感をもって通所していますか。						
こどもは通所を楽しみにしていますか。						
事業所の支援に満足していますか。						

従業員アンケート設問	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善が必要な点
利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0		
利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2		
生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0		
必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0		
業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	3		
保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		
職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		
第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		
職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0		
適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0		
放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		
放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	2		
こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1		
活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		
こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1		
支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1		
支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3		
日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0		
こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	6	0		
障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
地域の保健、医療(生医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
学校との情報共有(年間計画、行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	6	0		
就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3		
学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2		
地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受けられる機会を設けているか。	4	2		
放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4		
(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4		
日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0		
運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1		
放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3		
こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
定期的に連絡等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0		
個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2		
事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		
業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1		
事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等々のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3		
安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1		
こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		
ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1		
どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0		

公表 事業所における自己評価総括表

児童発達支援

○事業所名	Growup岡崎羽根
○保護者評価実施期間	2025/3/24-2025/3/27
○保護者評価有効回答数	0
○従業者評価実施期間	2025/3/24-2025/3/27
○従業者評価有効回答数	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025/3/30

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1			
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1			
2			
3			